沿革

1999年	iWave Systems 設立
2000年	日本との取引を開始
2007年	アイウェーブ・ジャパン設立
2008年	CPUモジュールの開発開始
2010年	列車走行シミュレーター開発
2011年	人工衛星の制御部開発
2012年	お肌センサ開発
2013年	i.MX6 Q7モジュール量産開始
2014年	電動カートへQ7モジュール採用
2015年	鉄道遠隔監視システム開発開始
2016年	JETROプロジェクト開始
2017年	RZ/G1開発キット販売開始
2018年	無線鉄道遠隔監視開発開始

会社概要

商号	アイウェーブ・ジャパン株式会社
英語表記	iWave Japan, Inc.
設立	2007年9月3日
資本金	3,000万円
従業員	11名（協力会社含む210名）
売上高	2億3000万円(2018年8月末)
代表者	代表取締役：菅野　治
取締役	エム・アブドラ・カーン
取締役	エム・エー・モハメド・サリヤ
取締役	ガウス・アハメド
監査役	重村　勝弘
所在地	〒231-0013 神奈川県横浜市中区住吉町3丁目29番 関内住吉ビル8階B
関連会社	iWave Systems Technologies Pvt. Ltd.
取引銀行	三井住友銀行　横浜支店

iWave

アイウェーブ・ジャパン株式会社　会社案内

❖ 会社理念

1
信頼を大切に
私たちは、人への信頼、
製品への信頼を大切にします

3
物作りの喜び
手を使い、工夫し、よりよい
物を生み出す喜びを
大切にします

2
新しい技術へ挑戦
進化する組込業界の技術へ
挑戦します

4
長期安定、技術の内部留保
長期的なビジョンを持ち、
高度な人材、技術の蓄積を
行います

❖ 代表挨拶

時代に先駆けた組込ソフト、ハードソリューションを提供します

代表取締役社長
菅野 治

組込CPUは、携帯電話、自動運転のニーズにより日々進化し、機能も高度に複雑化しています。 進化した組込CPUは、組込技術者にとっては、ハードルが高いものです。 アイウェーブは他社に先駆け開発キットを提供し、ソフトウェアとハードウェアのノウハウを提供します。量産に関してはシステムオンモジュールを提供しております。これにより、お客様は、開発期間、開発コストの削減を行うことができ、他社と差別化した製品を世の中に提供することができるようになります。
弊社は、長期的な視点で、社内にノウハウの蓄積を行ない、お客様に対して、高度で安心感のあるサービスを提供してゆきます。組込技術を通じてお客様の発展、そして社会貢献に寄与していくことが弊社の使命であると考えております。

❖ 事業内容

System On Module

様々な、CPUを搭載した System On Moduleを組込市場に長期安定供給します。製造は、日本の鹿児島の工場で行います。 メイドインジャパンの品質を保証します。
ソフトウェア、ハードウェアの高い技術的ハードルに対するソリューションを提供します。

開発キット

System On Moduleの開発に必要なキットを、他社に先駆けて提供します。
弊社が、あらかじめ、開発キットを提供し、最新のCPUを弊社で評価することにより、お客様の負担を軽減することができます。

受託開発

ソフトウェア、ハードウェアの両方をまとめて受託開発し、量産まで対応します。
実績：医療機器、口腔内視鏡、お肌センサ、表示パネル、ハンディ端末、OBDIIモジュール、パチンコ周辺機器

鉄道信号設備

鉄道信号設備（鉄道の券売機、表示機、精算機、無線を使用した遠隔監視システム）の設計、製造を行っています。
日本、インドのお客様に対応しております。